

東中学校区 9年間の家庭学習

家庭学習が大切です

家庭で予習や復習をすることで、学校での授業がよくわかるようになります。また、予習や復習によって授業で学ぶ内容がより確かに身につくとともに、問題を解き、文章を読んだり書いたりするなかで、考えたり、判断したり、表現したりする力を磨くことができます。さらに、学んだ内容を生活の中の話題とつなげて考えてみたり、実際に生活の中で生かしてみたりすることで、学ぶことのよさを改めて実感することもできます。授業と家庭学習とは車の両輪のようなもの。どちらも欠かすことのできない大切なものです。



環境を整えましょう

家庭学習を上手に進めるためには、次のようにして、身のまわりを、学習するのにふさわしい環境にしましょう。

- *机をきれいにし、道具や本、プリントなども、すぐに取り出して使えるように整理する。
- *テレビを見ながら、音楽を聴きながら、ものを食べながらといった、“ながら勉強”をしない。
- *良い姿勢で学習に向かう。
- *時間を決めて自分から取り組む。
- *※テレビやゲーム、携帯電話等の使い方についても、約束をつくることで、けじめのある使い方をすることが大切です。



習慣は強力な“魔法”です

“家に帰ったらすぐに宿題にとりかかる”“時間いっぱい集中して取り組む”“計画的に進める”“宿題以外のことにも自主的に取り組む”等々……。いずれも学習に取り組む際の大切な姿勢ですが、習慣になっていなければなかなか思うようにできないものです。その一方で、習慣として身につけていけば、不思議なくらい困ることなく実行できるものです。結果として、同じように頑張っても、できる学習の質も量も大きく変わり、身につく学力も大きく違ってきます。習慣というものは、誰もが身につけることのできる強力な“魔法”であり、身につけるべき大切な“魔法”なのです。



～すべての学びはつながっている～

たとえば、中学3年生が知っていること、できることの多くは、中学2年生までの学校や家庭も含めた社会生活の中で身につけてきたものであり、中学3年生の学びは、それまでに身につけてきたものを幹として新たな枝葉を伸ばし、発展させていくようなものだといえます。このように、今学んでいることは、学校、社会を問わず、必ず次の学びの土台となつてつながっていくかけがえのない大切なものです。そして、そのつながりの中で身につけていく確かな力こそが、夢の実現に向かう原動力となるのです。“すべての学びはつながっている”。だからこそ、そのための今が大切なのです。—今すべきことについては、各学年の手引き(裏面)を読んで参考にしてください。—



中3 1日90分以上 テスト前、部活引退後は平日3時間以上

- ・卒業後までのことを考えて長期的な計画を立てて学習を進めよう
- ・わずかな時間も上手に使って学習を重ねよう。

中2 1日80分以上 テスト前は平日3時間以上

- ・一人で集中して学ぶ姿勢を身につけよう。
- ・苦手教科への対策など、自主的な学習を積極的に進めよう。

中1 1日70分以上 テスト前は平日3時間以上

- ・身につける知識が大きく増えます。繰り返し学ぶようにしよう。
- ・分かっていない所を見つけ、自分で調べたり聞いたりして解決しよう。



小6 1日60分以上

- ・発展的な問題に挑戦するなど、新しいことに積極的に取り組もう。
- ・全ての教科に力を入れて苦手教科をつくらないようにしよう。

小5 1日50分以上

- ・計画的に学習を進めるようにしよう。
- ・学習にふさわしい環境を整え、集中して取り組もう。

小4 1日40分以上

- ・自分に必要な学習が何かを、自分で見つけて実行しよう。
- ・問題文を丁寧に読むなどして、落ち着いて取り組もう。



小3 1日30分以上

- ・決めた時間、決めた量に丁寧に取り組もう。
- ・図鑑や辞書を使って自分で調べてみよう。

小2 1日20分以上

- ・正しく読んだり、丁寧な字で書いたりすることを心がけよう
- ・問題文をよく読み、分からないことは先生や家の人に聞こう。

小1 1日15分以上

- ・机に向かう習慣をつけよう。
- ・学校でのことなど、家の人とたくさんお話をしよう。



手放したくない、学んだこと

学校の授業で学んだことも、その多くは、復習をしないと比較的短い期間で忘れてしまうものです。それを防ぐために大切なのは、**学び直すこと、そしてそれを繰り返すこと**。そうすることで、忘れにくくなり、定着していきます。ちなみに、学んでから時間が経つほど、学び直しに苦労をすると言われます。家庭で復習をすることで、手に入れたものをしっかりと自分のものにしてほしいものです。



読む・書く・話す・聞くことは 学びの基礎体力です

私たちは言葉で物事を考えます。話を聞き、文章を読んで内容を理解します。授業中に話し合いをするときには、話したり聞いたりする力が必要です。テストでは、問題を読んで内容を正しく理解しないと、正しい答えは導き出せません。家庭でも、じっくりと本を読んだり、日記を書いたりする場面をつくりましょう。また、学校でのことや社会のこと、将来のことについて、家族で話し合う(伝え合い、聞き合う)場面も積極的につくりたいものです。



東中学校区小中一貫教育の柱“キャリア教育”

キャリア教育とは、人生を豊かに歩んでいくための力を育む教育だと考えます。例えば、家庭の手伝いをしたり、地域のボランティア活動に参加したりすることで、人とのかかわり、社会の一員として活躍する力が育まれます。また、根気強く学習に取り組んだり、新しいことに挑戦したりする中で、困難を乗り越えて自分を磨いていく力が身につきます。さらには、人生の先輩である家族や地域の方の姿や話にふれる中で、働くことや学ぶことの意味や価値を感じ取ったり、夢を思い描いたりすることができます。学校と家庭、そして地域が一体となって、たくましい子供たちを育てていきたいと考えています。